

Ⅰ 団体情報

1 基本情報

...R7評価シート（R6決算）より転記
...R6具体的な行動計画より転記
...新たな記載欄

団体名	(一財)札幌勤労者職業福祉センター	所管課	経 雇用労働課
基本財産	20,000千円	記入者	担当 八木澤 電話 211-2278
設立年月日	昭和59年(1984年)12月27日	本市出資額	15,000千円 (出資割合 75.0%)
設立・出資目的	(設立目的) 札幌サンブラザ（札幌勤労者職業福祉センター）を含む勤労者福祉施設は、個別の企業が従業員に対して行う福利厚生事業では、企業規模間での格差が大きいことなどから、雇用促進事業団（現在の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構）が雇用保険の雇用福祉事業の一環として、昭和36年以降に社会的整備。全国で2,070箇所の勤労者福祉施設が建設され、事業主の共同負担で行う共同事業という趣旨から、整備財源には事業主負担分の雇用保険の保険料が充てられた。 札幌サンブラザは、地域中心核に位置付けられた北24条地区において、昭和53年に北24条の路面電車車庫跡地に勤労者福祉施設を誘致することを決定し、市及び北海道の要望を受け、雇用促進事業団が主体となって市と共同で建設した施設であり、当該施設を運営するために一般財団法人札幌勤労者職業福祉センターが設立された。 (出資目的) 一般財団法人札幌勤労者職業福祉センターは、札幌サンブラザを管理運営し、勤労者の雇用の促進並びに教養、文化、スポーツ及び福祉の向上に寄与することを目的に、これら事業を総合的に行っている。市は当該団体が適正に施設運営するよう必要に応じて指導・監督することから出資している。	沿革	昭和59年 団体設立 昭和61年 事業開始 平成26年 財団法人から一般財団法人に移行
代表者	理事長（非常勤）加藤 修（副市長）		
主な出資者	① 札幌市 (75.0%) ② 北海道 (25.0%) ③ ④ ⑤ ⑥		

2 実施事業

① プール事業	② コンサートホール事業
③ 会議・研修事業	④ 宴会・法要事業
⑤ 宿泊事業	⑥
⑦	⑧

⇒「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤理事	0	1	0	0	8
常勤監事	0	0	0	0	
非常勤理事			5		
非常勤監事			2		
職員					
常勤管理職	0	1	8	0	93
常勤一般職	0	0	20	6	
非常勤職員			58		

役員の任期		
理事	2	年
監事	4	年
代表権のある役員の 就任年月		
理事長	R07.5	
副理事長	—	
職員総数の推移(人)		
R05.4.1時点	82	
R06.4.1時点	99	

令和7年4月1日現在(単位：人)

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	2
20歳代	0	50歳代	9
30歳代	3	60歳代	14
平均年齢		56.1	歳

プロパー職員の退職・採用状況（人）					
	退職		採用		募集
	定年	中途	新卒	中途	
R4	1	0	0	0	0
R5	0	0	0	1	0
R6	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0

補足
「退職」については定年退職者、「採用」については定年退職者のうち再雇用した職員を計上している。

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分				R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	699,612	714,157	(100.0%)	(+14,545)
				経常費用(b)	661,041	687,079		(+26,038)
				うち管理費等(c)	30,031	31,538	(4.4%)	(+1,507)
				うち人件費(d)	234,508	250,015	(35.0%)	(+15,507)
				当期経常増減額(e)	38,571	27,078		(▲ 11,493)
				当期正味財産増減額(f)	28,020	19,718		(▲ 8,302)
	貸借対照表	資産(g)		資産(g)	363,019	365,193		(+2,174)
				流動資産(h)	279,586	270,330		(▲ 9,256)
				固定資産(i)	83,433	94,863		(+11,430)
				うち基本財産(j)	20,000	20,000		(0)
		負債(k)		負債(k)	221,365	203,821		(▲ 17,544)
				流動負債(l)	90,113	84,413		(▲ 5,700)
				固定負債(m)	131,252	119,408		(▲ 11,844)
		正味財産(n)	141,654	161,372		(+19,718)		
		借入金残高(o)	116,100	103,200		(▲ 12,900)		

6 所管局による検証（R6行動計画より）

今後の在り方 (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れること。)	(1) 団体の在り方、出資の在り方 勤労者福祉施設は全国的に減少しているものの、札幌サンプラザは地域交流の拠点施設として機能し、プール事業は北区の公的プールとして位置付けられており、コンサートホール事業は北区及び東区で唯一のコンサートホールとして利用されているなど、施設全体では年間30万人（令和5年度実績）が利用しているところである。また、札幌サンプラザには就業サポートセンターを始めとする就業・雇用を推進する各種窓口が設置されており、勤労者を始めとする市民の雇用の促進並びに教養、文化、スポーツ及び福祉の向上に寄与している。こうした出資目的を踏まえた管理運営を今後も団体に担わせることや、経営状況等も踏まえて、市が引き続き積極的に関与する必要がある。
	(2) 経営の安定性や自立を高める方策 新型コロナウイルス感染症拡大が契機となって利用者数が減少したほか、原油価格や物価・光熱費等の高騰により経費が増大し、今後の経営状況が懸念される。一方で、徐々に利用者数は増加・回復している傾向にあり、正味財産は一定程度を確保しているものの、人手不足により全ての需要に応じられない現状にある。市では、これら経営状況や利用状況等を踏まえて、施設の有効活用を図りながら、施設の存続期間は、建物の老朽化状況や北24条エリアの市有地の利活用などを踏まえて見定めていくこととしている。これまで団体が蓄積した施設運営のノウハウを活用しながら、今後も当該団体が管理運営し、経費節減を念頭に置きつつ、ニーズを踏まえた収益性のある事業展開を行う必要がある。

7 他の政令指定都市の状況

広島市（広島サンプラザ）は、札幌市と同様に団体（公益財団法人 広島市文化財団）が施設の管理運営をしている。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	63,350	77,956	(+14,606)
市委託料	0	0	(0)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(0.0%)	(0.0%)	(0)
市貸付金	129,000	116,100	(▲ 12,900)
市貸付金残高	116,100	103,200	(▲ 12,900)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

II 事業ごとの状況

事業内容 1	プール事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		×	×	○	×
事業内容 2	コンサートホール事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		×	×	○	×
主要事業名	文化・スポーツ事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性] 音楽ホール、プール、文化教室部門等の事業の実施により、勤労者及び地域住民の福祉の向上に貢献する。			

......R7評価シート（R6決算）より転記
......R6具体的な行動計画より転記

1.事業内容	市支出欄	金額欄
札幌サンプラザにおける文化・スポーツ事業の実施	市補助金	76,598 (千円)
①音楽ホール部門		(千円)
・音楽コンクール、ピアノ発表会等の舞台芸術活動、地域の催物、講演会等の開催		(千円)
②プール部門		(千円)
・プールの一般開放及び水泳教室の開催（公的温水プールの役割）		(千円)
③文化教室部門		(千円)
・書道、音楽、文芸、絵画、舞踊、言語、工芸等の教室への貸室提供		(千円)
		(千円)
		(千円)

2.実施結果

(1)事業収支（単位：千円）

項目	R5年度	R6年度
収入	181,377	146,556
（経常収益比）	(+25.9%)	(+20.5%)
市補助金・交付金・負担金	63,350	76,598
市業務委託料	0	0
市指定管理費	0	0
市施設利用料金収入	0	0
自主事業収入（補助金除く）	118,027	69,958
その他収入	0	0
項目	R5年度	R6年度
費用（支出）	190,705	163,585
事業費	180,695	153,072
管理費等	10,010	10,513
項目	R5年度	R6年度
収支差	▲ 9,328	▲ 17,029
収支比率	95.11%	89.59%

(2)活動指標

	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
① プールの開催教室数（短期教室含む）	66	66	66
② 文化教室の開催講座数	125	125	112
③			
④			
⑤			
(3)成果指標	R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
① 音楽ホールの利用者数(人)	44,201	29,600	29,270
② プールの利用者数(人)	58,772	35,600	37,422
③ 文化教室の利用者数(人)	25,702	25,800	26,869
④			
⑤			

3.所管局による評価

事業目的に対して事業の効果は

□十分出ている

■高める余地あり

□出していない

令和6年度は特定天井の改修工事が行われ、プールや音楽ホールなどの営業を一時的に休業したことに伴い、利用者数は前年度と比較して減少した。しかしながら、これら公益的サービスについては、勤労者福祉施設及び地域の中核的集客施設として、文化・スポーツの活動の場を提供し、勤労者や地域住民の健康と充実した職業・社会生活を支援する目的があることから、引き続き利用者のニーズに対応したサービスを提供する。

事業内容 3	会議・研修事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		○	/	○	○
事業内容 4	宴会・法要事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		○	/	○	○
事業内容 5	宿泊事業	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		○	/	○	○
主要事業名	文化・スポーツ事業以外の福祉事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		宴会、会議・研修、宿泊、レストラン部門等の事業や、雇用労働関連事業として合同企業説明会等の実施により、勤労者の雇用の促進と福祉の向上に貢献する。	

......R7評価シート（R6決算）より転記
......R6具体的な行動計画より転記

1.事業内容	市支出欄	金額欄
札幌サンプラザにおける文化・スポーツ事業以外の福祉事業の実施	市補助金	1,358 (千円)
①雇用労働関連事業		(千円)
・札幌市が主催する合同企業説明会、労働啓発パネル展等の開催に協力		(千円)
・近隣小学校の社会学習等の受入れ		(千円)
②地域関連事業		(千円)
・「スローライフ・イン・に～よん」事業を始めとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に参加・協力		(千円)
③会議、宿泊、レストラン、宴会等利用促進		(千円)
・町内会等の地域から需要がある各種施設見学プランを実施		(千円)
・野球やサッカー等のスポーツ団体を始めとする客室プランを展開		(千円)
・施設の内覧会を企画し、法要の需要に対応		(千円)
※補助金は令和6年度に限ったもの。		(千円)

2. 実施結果

(1)事業収支（単位：千円）		
項目	R5年度	R6年度
収入	516,544	566,296
（経常収益比）	(+73.8%)	(+79.3%)
市補助金・交付金・負担金	0	1,358
市業務委託料	0	0
市指定管理費	0	0
市施設利用料金収入	0	0
自主事業収入（補助金除く）	516,544	564,938
その他収入	0	0
項目	R5年度	R6年度
費用（支出）	468,468	521,739
事業費	448,447	500,713
管理費等	20,021	21,026
項目	R5年度	R6年度
収支差	48,076	44,557
収支比率	110.26%	108.54%

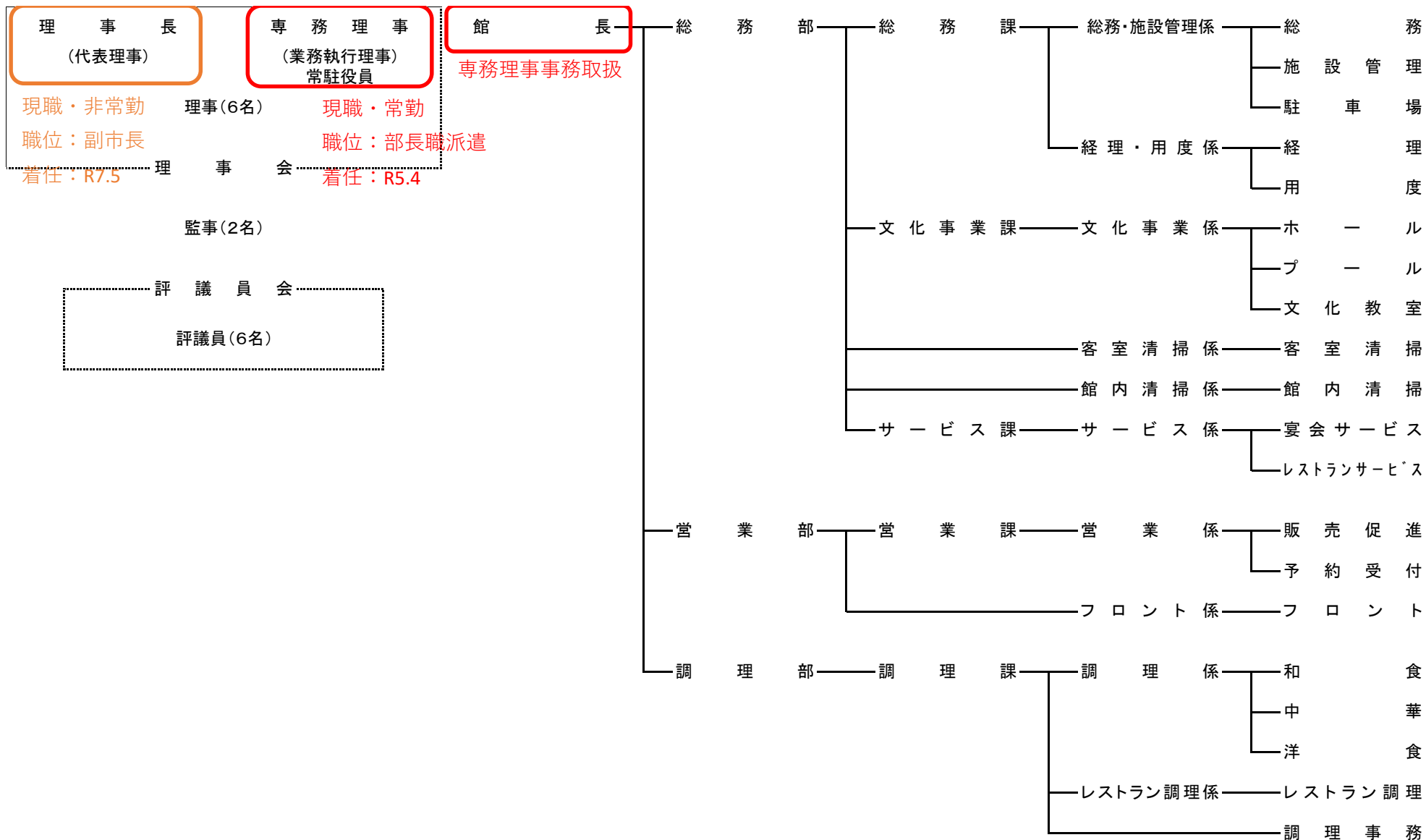
(2)活動指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	合同企業説明会の実施	1	1	1
②	宴会・法要のPRイベントの開催	4	4	4
③	レストランにおけるイベント・フェアの開催	5	6	4
④				
⑤				
(3)成果指標		R5年度実績	R6年度目標	R6年度実績
①	合同企業説明会の参加者数	291	230	258
②	宴会の利用者数	26,412	26,235	31,099
③	会議・研修の利用者数	61,538	99,800	62,574
④	宿泊の利用者数	14,843	16,200	18,342
⑤	レストランの利用者数	69,161	63,840	67,656

3.所管局による評価	
事業目的に対して事業の効果は <div>□十分出ている</div> <div>■高める余地あり</div> <div>□出していない</div>	
札幌市が主催する合同企業説明会等への協力のほか、施設内に就業サポートセンター、シルバー人材センター等を設置しており、雇用促進・就労支援において大きな役割を果たしている。	
また、地域社会への貢献を目的とした「スローライフ・イン・に～よん」等を始めとする町内会、商店街、料飲店協会等が主催する事業に積極的に参加・協力しているところである。	
今後も引き続き地域コミュニティの維持、活性化に向けた取組を行う。	

III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	Ｒ〇.〇		（Ｒ6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください）
現職	非常勤役員	理事長	副市長	R7.5		
現職	常勤役員	専務理事／館長	部長職	R5.4	<p>団体業務の統括及び職員の指揮監督を行う。専務理事（業務執行理事）・館長として、札幌サンブラザの管理運営に関する業務、勤労者の雇用の促進並びに教養、文化、スポーツ及び福祉の向上に関する事業を行う。</p>	<p>札幌サンブラザは、勤労者の雇用、労働等に関する事業のほか、市の公的施設に位置付けられているプールや、北区及び東区で唯一のコンサートホールを備えているとともに、北区の中核施設として多くの市民が利用しており、地域のまちづくりに寄与している。</p> <p>市では、施設の利用状況や各機能の必要性を踏まえ、平成28年に「札幌勤労者職業福祉センター（札幌サンブラザ）の今後の活用方針2016」を策定し、今後も施設を存続し、有効活用を図っていくこと、また、施設の存続期間を建物の老朽化状況や北24条エリアの市有地の利活用などを踏まえて見定めていくこととしている。</p> <p>当該団体の経営面においては、新型コロナウイルス感染症拡大が契機となって施設の利用者数が減少しているが、社会経済活動の回復に伴い、収支が改善傾向にある。引き続き、経費を節減し、利用回復を図るとともに、市からの借入金の残債があることから、今後も計画的に償還を行い、着実に完済するために絶えず安定した経営に努めなければならない。</p> <p>このため、市の雇用、労働等の施策や、芸術文化、スポーツ、コミュニティなど地域振興を推進する上で、今後も当該団体との緊密な連携が重要であり、市の主導による積極的かつ強力な指揮監督に加え、緊密な連携を維持する必要があることから、市政全般に関する幅広い知識と豊富な経験を持つ人材の配置が必要不可欠である。</p>



令和7年10月1日現在

一般財団法人札幌勤労者職業福祉センター
評議員及び役員名簿

評議員（6名）

氏 名	所属及び役職	備考
石 井 邦 典	公財)札幌市中小企業共済センター事務局長	
倉 浩一朗	株)北海道新聞社事業局事業センター長	
坂 井 智 則	札幌市経済観光局長	
藤田栄一郎	北海道経済部労働政策局 雇用労政課長兼働き方改革推進室長	
星 原 智 江	公社)札幌消費者協会副会長	
吉 田 賢 一	連合北海道札幌地区連合会会長	

理事（6名）

氏 名	所属及び役職	備考
加 藤 修	札幌市副市長	理事長 (代表理事)
小田原史佳	札幌市経済観光局産業振興部部長職	専務理事 (業務執行理事)
安 彦 史 朗	北海道経済部労働政策局長	
小 泉 詔 信	北24条商店街振興組合理事長	
成 田 恭 一	(札幌市北区)北連合町内会会長	
光 崎 聡	連合北海道札幌地区連合会副事務局長	

監事（2名）

尾 田 聡	北海道銀行第9法人営業部部長	令和7年10月1日付 就任
西 田 史 明	札幌商工会議所理事・事務局長	